

第 26 期・第 2 回 地域研究委員会・言語・文学委員会・哲学委員会・心理学・教育学委員会・社会学委員会・史学委員会・法学委員会・経営学委員会・情報学委員会合同

デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会 議事要旨

開催日時 令和 6 年 8 月 18 日（日）14:00～16:00

開催場所 遠隔会議（ZOOM）

出席者：永崎研宣（委員長）、矢野桂司（副委員長）、後藤真（幹事）、川嶋四郎、坂田省吾、野口晃弘、大場みち子、隠岐さや香、木部暢子、木村敏明、金水敏、橋本隆子、師茂樹（13 名、敬称略）

欠席者：岩井紀子、大橋幸泰、小長谷有紀、谷口尚子、原田範行、吉岡洋、吉永千鶴子、奥田太郎、瀬川裕貴、日比善高、平田貞代（幹事）、松田陽（12 名、敬称略）

オブザーバー：戸谷圭子（敬称略）

議 題

（１）前回議事要旨の承認

全員へのメールで承認された、前回議事要旨の確認を行った。

（２）分科会における議論のテーマについて

以下の内容を主たる議題として進めることとして承認された。

1. 人文・社会科学に関する、新たな学術基盤に関する見解発出
2. 人文・社会科学の量的・質的研究手法の情報技術の基盤的・応用的なそれぞれに関する情報の共有・社会的発信

（３）分科会における議論の進め方について

委員長原案通りに承認された。

（４）第 26 期の活動計画

委員長原案通りに承認された。

（５）その他

日本における人文学・社会科学の振興政策に対して学術会議の議論をいかに関係させていくべきかなどの議論を行った。

以上